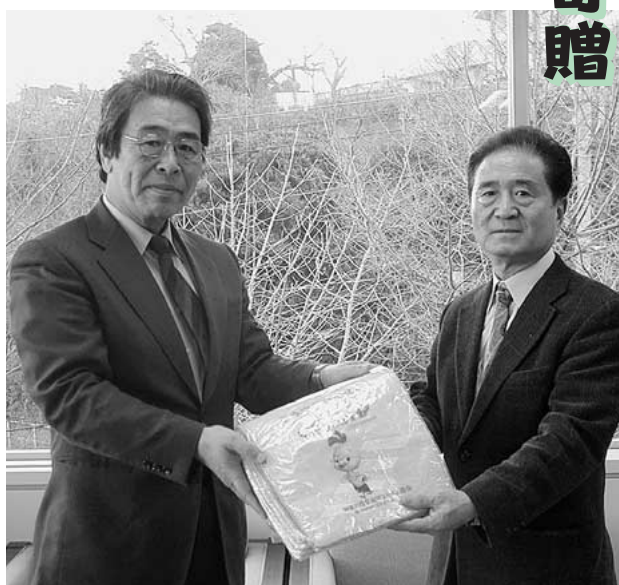


新入学児童を交通事故から守ろう！

◆入学式当日に交通安全キヤンペーン◆

新一年生全員にランドセルカバーを寄贈



3月6日に町交通安全協会会長、石郷岡重臣さんから新入学児童全員に黄色のランドセルカバーが寄贈されました。

入学式のシーズンを迎え、町内の各小学校には、真新しいランドセルを背に、学校生活に胸をふくらませた新一年生たちが入学してきます。

子どもたちを交通事故から守ろうと、町交通安全対策協議会では、今年も交通安全運動を展開する中で、さまざまな取り組みを通して、新入学児童の安全確保に努めます。



新入学児童を対象にした交通安全運動の第一弾は、四月五日（水）入学式の当日です。

この日は、町交通安全協会、交通安全母の会や交通指導員などが町内の小学校の正門前に立ちます。保護者に連れられて元気に登校して来る新一年生たちに、交通安全のチラシや啓発の品々を手渡しして、交通事故に対する注意を呼びかけます。

今年も一輪のチューリップと交通標識や交通安全イラストの入った下敷きを配布する予定です。

また、町交通安全協会会長、石郷岡重臣さんから新入学児童全員に黄色のランドセルカバーが寄贈されました。



六日（木）から始まる「春の全国交通安全運動期間」（十五日（水）まで）に合わせて、多彩な啓発運動を展開します。

期間中は、交通安全協会、交通安全母の会、交通指導員、PTA等が登校の時間帯に、横断歩道や信号のある交差点などに立ち、子どもたちが交通事故に遭わないよう、車への注意を促したり、正しい横断の仕方などを指導します。

また、交通安全母の会の取り組みとして、広報車での交通安全の呼びかけを行います。

期間中は土・日曜を除く毎朝、子どもたちが登校する時間帯に、母の会の会員が交代で交通安全協会の広報車に



乗り、町内各小学校の通学路を中心に巡回しながら、交通安全を呼びかけます。

さらに、期間中は登校時に交通安全対策協議会員が、交通量の多い葉山大道交差点に立ち、赤信号で停車中のドライバーに啓発の品々やチラシを手渡し、横断する子どもたちへの注意を促す「交通安全キャンペーン」を実施します。警察と葉山二輪車安全普及協会、バイクや自転車など二輪車を対象にした、街頭での点検・安全指導もしています。

このほか、町交通安全協会では春秋の「全国交通安全運動期間」や夏冬の「交通安全キャンペーン」を中心に、



年間を通してさまざまな交通安全運動を展開しています。

例えば毎月一日（県民交通安全日）と十五日（高齢者交通安全日）には、通勤・通学の時間帯に、交通安全対策協議会員が街頭に立ち、運転手や歩行者に交通安全を呼びかけています。交通安全母の会と交通指導員の十六人が通学路に立ち、子どもたちの安全を見守る「登校時見守り」も行っています。

また、高齢者へ注意を促すための「高齢者宅訪問」や秋のふるさとひろば、町民総ぐるみ大会での交通安全キャンペーンなど、多彩な取り組みを行っています。